



平成 29 年 2 月 9 日

各 位

会社名 株式会社コンテック  
代表者名 代表取締役社長 藤木 勝敏  
(コード番号 6639 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役専務執行役員 藤井 貢  
電話番号 06-6472-7130 (代表)

### 中期経営計画（平成 29 年度～平成 32 年度）の策定について

当社は、平成 29 年度を初年度とするグループ中期経営計画について、下記のとおり策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 計画策定の背景

インダストリー4.0 に代表される IoT<sup>※</sup>化の取り組みが国内外の産業界で注目を浴びており、これらの関連機器を中心とした電子機器製品の大幅な需要の増加が見込まれております。世界的な IoT 化に向けた投資は、当社グループにおきましても大きなビジネスチャンスであり、IoT 技術で産業界の発展に貢献するリーディングカンパニーを目指すことで持続的な成長・発展に向け取り組んでまいります。

※IoT(Internet of Things)：情報通信機器だけでなく、様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続することで、自動認識、自動制御、遠隔計測などを行うこと

#### 2. 基本方針

次の項目を基本方針として、更なる成長を目指してまいります。

- (1) IoT 市場の開拓
- (2) グローバル販売の強化
- (3) 生産の構造改革

#### 3. 重点施策

上記の基本方針に基づき、次の具体的施策を積極的かつ効率的に実行してまいります。

##### (1) IoT 市場の開拓

当社は、急速な市場拡大が見込まれる IoT 市場に向けて、産業用コンピュータ、計測制御、ネットワークの分野で培った技術を活かした IoT ソリューション「CONPROSYS」を開発してまいりました。今後も更なる成長が見込まれる新市場の開拓を目指して、従来の営業・技術体制をソリューション販売に適した体制に改革してまいります。

(2) グローバル販売の強化

電子機器製品の市場は、欧米・アジア地域の市場規模が大きく、今後の成長を図るためにはグローバル販売の強化が不可欠となっております。平成 28 年 4 月にはヨーロッパ市場を開拓するためオランダにアムステルダム支店を開設するなど販売体制の強化を進めてまいりました。今後、米国子会社を中心として欧米市場の拡販を目指すと共に、東南アジアなどへの販売拠点設置を視野に入れながら、海外売上高比率を現在の 30%から 50%に拡大してまいります。

(3) 生産の構造改革

高収益体質を実現するため、IoT 技術を活用した生産の効率化など生産体制の構造改革に取り組んでまいります。また、製品の品質向上のため、グループ全体における品質管理体制を強化してまいります。

4. 数値目標（連結ベース）

(金額単位：百万円)

	平成 28 年度予想 (平成 29 年 3 月期)		平成 32 年度計画 (平成 33 年 3 月期)
売上高	23,500	⇒	売上高 30,000
営業利益	1,000		営業利益率 8.0%
営業利益率	4.3%		

上記の予想及び目標は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想及び目標数値と異なる可能性があります。

—以上—